

ソリューション事業者紹介

会社名	e-dash株式会社	所在地	東京都港区赤坂四丁目8番18号 赤坂JEBL 6階
		ホームページ	https://e-dash.io/
		メールアドレス	success@e-dash.io
		電話番号	03-4405-6320(代表)
		窓口担当者	佐藤 葵
提供ソリューション分類	<input type="checkbox"/> 照明、 <input type="checkbox"/> 空調、 <input type="checkbox"/> OA機器、 <input type="checkbox"/> コンプレッサ、 <input type="checkbox"/> 電動機・ポンプ・ファン、 <input type="checkbox"/> ボイラ、 <input type="checkbox"/> バーナー工業炉、 <input type="checkbox"/> チラー、 <input type="checkbox"/> 配電盤・変圧器、 <input type="checkbox"/> 排水処理設備、 <input type="checkbox"/> 業務用自動車、 <input type="checkbox"/> 再エネ、 <input type="checkbox"/> EMS・管理ツール等、 <input checked="" type="checkbox"/> その他(CO ₂ 排出量可視化・削減支援 / ESGデータ収集・分析・実行支援 / カーボンフットプリント算定支援等)		
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> Scope 1・2・3排出量を可視化できるサービスプラットフォーム「e-dash」を提供。請求書等のデータをアップロードするだけでCO₂排出量を可視化。属人化を防ぎながら、持続可能な算定体制の構築を支援します。Scope 3の算定については、戦略策定から削減策の実行までを支援する伴走型のコンサルティングサービスを提案可能です。 各種制度に沿った開示や、SBT・CDP・TCFDなどのイニシアチブの認証取得・スコアアップを支援し、戦略設計から第三者検証の取得に必要な状態整備を一気通貫でサポート可能。省エネ法定定期報告に対応したクラウドサービスも提供しています。 Scope 3の1次データ化に向けたサプライヤーからのデータ収集や、人権デューデリジェンスをはじめとしたESGに関連する調査を支援する「e-dash Survey」、カーボンフットプリントの算定・分析・報告をワンストップで支援するクラウドサービス「e-dash CFP」およびコンサルティングサービスも提供しています。 削減目標の達成に向けて、それぞれの企業の状況に適した削減施策の提案が可能です。省エネ・再エネ導入から、証書・クレジットの活用まで、お客様の削減目標や経済合理性を含めて、適切な手法をご提案します。 高品質で信頼できるクレジットや証書を、必要な量だけ簡単に調達できる「e-dash Carbon Offset」を提供。お客様の状況やCO₂排出量の削減目標を踏まえ、証書とクレジットを組み合わせた調達プランのご提案も可能です。 		

可視化・開示/報告・削減の3ステップで、脱炭素経営を推進

e-dashは、脱炭素経営を着実に進められるよう「可視化」「開示/報告」「削減」の3ステップで網羅的にご支援します。また、お客様のご状況に応じて、必要なステップだけを選んで導入することも可能です。

脱炭素への取り組み 3ステップ

1



STEP1 可視化

Scope 1・2・3排出量をクラウドで管理し、正確な算定や属人化の解消を実現。

子会社や関連会社も一元管理。

2



STEP2 開示・報告

算定データを活用し、SBT認定取得対応やTCFD等の開示対応を支援。企業価値の向上に繋がります。

3



STEP3 削減

省エネ、再エネ導入からクレジット購入まで、ご状況に合わせた最適な削減プランを提案します。

BPaaS(算定業務アシスタントBPO)



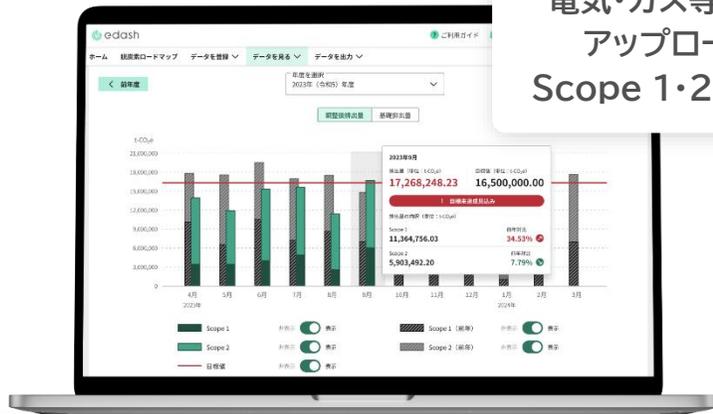
- 排出量算定に関わる事務作業をe-dashへアウトソースし、業務効率化を実現。
- 各拠点へのデータアップロードの連絡や、データ収集の作業や集計など、完全カスタマイズでお任せください。



CO₂排出量可視化・削減支援 プラットフォーム「e-dash」

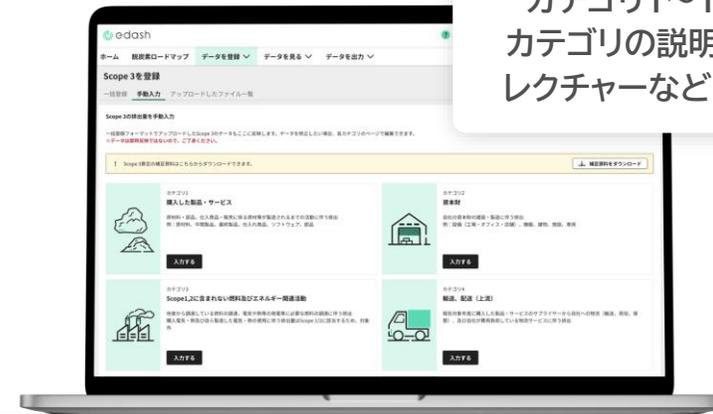
Excelで行っていた煩雑な作業をクラウド上で統合管理し、属人化を防ぎながら、持続可能な算定体制を構築します。
さらに、連結グループにも対応しており、子会社・関連会社を含めたグループ全体での算定精度向上と業務効率化を実現します。

クラウドサービスによるScope 1・2の算定



電気・ガス等の請求書データを
アップロードするだけで、
Scope 1・2排出量を自動算定。

クラウドサービスによるScope 3の算定



カテゴリ1~15にすべて対応。
カテゴリの説明や必要なデータの
レクチャーなど、伴走支援も実施。

可視化できる主な項目

- ・エネルギー使用量 / コスト
- ・CO₂排出量
- ・燃料別 / 拠点・拠点グループ別分析
- ・目標設定と進捗管理



ニーズに合わせた包括的なご支援を展開

お客様のニーズに合わせて包括的なご支援を展開しております。
お悩みに合わせて最適なソリューションをご提案いたしますので、まずはご相談ください。



戦略策定・社内啓発



可視化（導入・測定）



開示・報告



脱炭素推進

Product

- Scope 1・2算定
- Scope 3算定
- ESGデータ収集
- リアルタイム算定
- CFP算定
- パートナーポータル | 企業間連携（親 / 子会社、自社 / サプライヤー）

- 省エネ法定定期報告

Service

- 脱炭素戦略策定支援
 - ロードマップ策定支援
 - 勉強会・ワークショップ

- Scope 1・2算定支援
- Scope 3算定コンサルティング
- 削減貢献量算定支援

- 開示支援
 - 統合報告書(パートナー)
- 報告支援
 - 省エネ法定定期報告
 - TCFD対応支援
 - CDP対応支援
 - SBT認定取得支援

- 省エネ
 - 省エネ診断
 - 省エネ導入支援
- 再エネ調達
 - 電力メニュー切替
 - 非化石証書
 - Corporate PPA導入
 - 海外再エネ証書
- オフセット
 - J-クレジット
 - ボランタリークレジット

- BPaaS(算定業務アシスタントBPO)



導入事例: セントラル警備保障株式会社



セントラル警備保障株式会社

インタビュー記事:

<https://e-dash.io/lp/nikkei2024rensai/vol3.html>

業種

サービス業

上場区分

東証プライム

導入サービス

Scope 1・2・3可視化、Scope 3算定コンサル
省エネ法定定期報告

課題

- 自社で独自にCO₂排出量を算定しており、時間と手間がかかり、作業負担が大きかった。
- 集計した排出量の正確性にも懸念があった。



取り組みと効果

算定業務の効率化

- e-dashの導入により、これまで手作業で行っていた煩雑な集計業務から解放され、具体的な削減アクションの加速を実現。

グループ会社の排出量の一元管理

- グループ全体のGHG排出量の可視化・削減を加速して中長期計画を達成し、サステナブルな社会の実現に貢献していくために、グループ10社にも導入を拡大。

事業に即した削減アクションを加速

- 事業影響を考慮したEV導入や再エネ導入など、最適な提案を受けながら削減アクションを具体化。

導入事例: 中野製薬株式会社



中野製薬株式会社

インタビュー記事:

<https://e-dash.io/story/post-2784/>

<https://e-dash.io/story/post-3101/>

業種

製造業

上場区分

未上場

導入サービス

Scope 1・2可視化、CFP算定
非化石証書代理調達サービス



課題

- 自社で独自にCO₂排出量を算定しており、時間と手間がかかり、作業負担が大きかった。
- 集計した排出量の正確性にも懸念があった。

取り組みと効果

- FIT非化石証書代理調達サービスを活用し、国内非生産拠点の使用電力の100%再エネ化を実現。
- 脱炭素に関する一連の取り組みに対しては、原資材メーカーなどの取引先からは『開示義務のある上場企業レベルの取り組みを先んじて行っている』などといった評価をいただいた。



課題

- 業界に先駆けた製品CFP(カーボンフットプリント)算定を目指していた。
- 社内に専門知識がなく、データ処理や算定基準の対応が自力では難しかった。

取り組みと効果

- 伴走支援体制が整っていたことで、負担を最小限に抑えながら取り組むことができた。
- 主力製品において、国内の頭髪化粧品業界初となるCFP算定・公表を実現し、OEM事業においても「CFPを算定できるメーカー」というアピールポイントを持つことができるように。